

イタリア・モロッコへ トップセールス

市では、国際的な文化観光都市との間にネットワークを構築し、文化資源の活用を通じた交流と観光振興を図るために、4月15日から26日にかけて、イタリアとモロッコにおいて國島市長がトップセールスを実施しました。そこで今回のトップセールスの成果などについて國島市長に尋ねました。

—最初の訪問国イタリアでの成果や、今後に向けた動きについて聞かせてください。

今回の海外出張では、まず、イタリアのミラノを訪問しました。

ミラノでは、世界最大の家



ミラノ・サローネでのアロマディフューザーの説明

者と意見交換を行いました。



—ミラノの次に訪れたクレモナでは、弦楽器を通じた交流に向けて意見交換が行われたのですが。



リカルド・ベルゴンツィ氏のバイオリン工房視察

具・インテリア見本市「ミラノ・サローネ」を視察しました。この見本市には、飛騨産業株式会社が単独で出展されたほか、渋谷柳造窯がデザイナーと共同開発した商品の展示がありました。高山に古くから伝わる渋谷柳造窯の技術が、アロマディフューザー（散布器）という新しい形で活用されるのは非常に革新的であり、伝統工芸の新たな可能性を感じました。

また、ミラノでは、在ミラノ日本国総領事館を敬訪問するとともに、市内にある岐阜県ギャラリー「CASA GIFU III（カーサギフスリー）」やレセプション会場において参加

ほか、春慶弦楽器を製作したリカルド・ベルゴンツィ氏など関係者の方々にお会いし、人材交流を含めた支援や連携協力に関する協議を行いました。その結果、国立弦楽器製作学校のワークショップを高山で開催することなど、弦楽器を通じた交流に向けて有益な提案をいただき、今後の交流や両市の発展について意見が一致しました。

—次の訪問国のモロッコ王国では、マラケシュのほかに、陶器の産地として有名なフェズを訪れたと聞いています。

モロッコでは、スポーツや観光・社会経済等を所管する各大臣を始めとする政府要人と意見交換を行うとともに、岐阜県とマラケシュ・サファイ州議会との「友好協力に関する覚書」締結に同席しました。また、フェズ・ブルーの名で知られる陶芸品で有名なフェズを訪れ、市長をはじめ行政関係者と面談しました。市民が主役の国際交流の進め方について情報交換を行うとともに、伝統工芸の保護や振興、文化財保護についての



フェズ市行政関係者との面談

交流を今後検討していくことで意見が一致しました。

—デザインの発信地・ミラノ、弦楽器の聖地・クレモナ、陶芸のまち・フェズ、文化と芸術が薫る都市との交流が進むことに期待が膨らみます。

市では今後も、国内外の都市との交流促進や積極的な観光宣伝等の取り組みを通して、高山市が有する魅力を世界に向けて広く発信し、市のさらなる発展に結びつけていきたいと考えています。

問合せ先 海外戦略課
広報ID ☎35-13346
10099517